

ボランティア

発行／社会福祉法人 野田市社会福祉協議会
野田市ボランティアセンター

◆開設時間 月曜から金曜 8時30分から17時15分

〒278-0003 野田市鶴奉5-1(総合福祉会館内)

TEL 7124-3939 FAX 7124-8883

<http://www.nodasyakyo.or.jp>

E-mail:noda-vc@nodasyakyo.or.jp

野田市社会福祉協議会

検索



With コロナの時代に！ボランティア活動再開の1歩



7月から感染症予防の対策を行いつつではありますが、総合福祉会館の利用制限も緩和されてボランティアの皆さんの活動の機会が増えてまいりました。ただ残念なことに新型コロナウイルス感染の拡大は止まらない状況であり、With コロナの時代（新たな感染症とともに生活する時代）に突入した感があります。このような状況におけるボランティア活動再開については、各団体で悩み、葛藤しながら、意見交換を行いたどり着いたようです。今号では、再開の一歩を踏み出した「おもちゃ病院野田」の皆さんからの報告をご紹介します。

「おもちゃ病院野田」開院報告！

「おもちゃ病院野田」は壊れた・故障したおもちゃを無料で（特殊な部品は実費で）修理するボランティアグループです。



感染対策の必需品アクリル板受付シールド

手作りのアクリル板受付シールド越しに対応！



おもちゃを修理する時もソーシャルディスタンス！

新型コロナウイルス感染予防のため開院を中止していましたが、8月8日、約5か月振りに「総合福祉会館」で開院しました。おもちゃ病院の開院情報が長い間途絶えていたので修理依頼者が来場されるか否かを心配していました。開院してみると、開院時間30分前に「開院が待ち遠しかった」とご夫婦がいらっしゃいました。我々も開院時間前というのを忘れて、素直に受付、修理と作業を進めていました。そんな事もありましたが、受付前の「手の消毒・体温測定・来場者名簿の記入・おもちゃの消毒」を経て受付シールドを挟んでの受付と修理に掛かるまで来場者にご協力を頂き、6家族の来場で12個のおもちゃを修理する事になりました。久々のおもちゃ修理でしたが、3密を避け、マスクを着用しての会話は弾まず、静寂な中での修理は何か不思議な感じでしたが、会員の皆さんは根っからの修理好きなのか嬉々とした顔つきで修理していました。

今後は、総合福祉会館限定で第2土曜日と第4日曜日（9時30分から正午まで）開院予定です。

★9月27日（日）9時30分から正午まで開院予定

野田市ボランティアセンター ☎7124-3939
おもちゃ病院 野田 本田 ☎7129-7495

*次ページでも活動再開されているボランティア団体の様子を紹介しています。

川柳大募集!!



新型コロナウイルスの感染対策による自粛等で日々思うようにボランティア活動が出来ず、お家で過ごす時間が増えていませんか。そのような時だからこそ、皆さんの近況を川柳で表現してみませんか。ボランティアに絡めたものでなくてもOKです。応募作品は次号のボランティア通信にて披露させていただきます。応募は本名でも仮名でもいいですよ(^_^) 大勢の方のご応募お待ちしております。



例：テレワーク キッチン隅に 場所確保
父の日は 何もいらぬが 期待する (共に松本 康男 様)



お題：皆さんの近況

応募方法：ボランティアセンター宛てに郵便、FAX、メール、電話どれでもOK!

〒278-0003

野田市鶴奉5-1 (総合福祉会館内)

TEL: 7124-3939 FAX: 7124-8883

E-mail: noda-vc@nodasyakyo.or.jp



野田市ボランティアセンター登録の団体、個人ボランティアの皆さんへ

新型コロナウイルスとの闘いに、半年以上が過ぎました。以前は皆さんとボランティアの願いで良く電話やメールでご連絡する機会がありましたが、流行に伴い、感染拡大の防止や自粛で連絡を取り合う機会がめっきり減り、私たちも寂しく感じています。ボランティア関係のイベントが軒並み中止になり、ボランティアの皆さんの活動場所であった福祉施設が外部の人の出入りを控えていただいている状況が続いています。施設の受入れとは関係なく、ボランティア再開の道がある団体は今回のボランティア通信でご紹介したようにぽつぽつと活動を再開しています。7月より皆さんの活動拠点の総合福祉会館の会議室の利用制限が緩和されて多くの団体の皆さんが、自分たちの特技がさび付かないように練習に励んでいらっしゃいますし、助成金の申請にチャレンジして、コロナ後の活動の充実を図ろうとされています。

ボランティアセンターでも何とかボランティア活動を再開していただける道はないかと模索しています。皆さんがそれまでボランティア活動できる前向きな気持ち、体力の維持に努めてくださると嬉しいです。

コロナ禍でも「市報のだ」の音訳「あいの会」、点訳「点訳の会」ボランティアを継続!

新型コロナウイルスの感染が拡大している中でも、障がいのある方への情報提供はボランティア団体の方の努力により継続されています。月に2回の「市報のだ」の音訳は「あいの会」、点訳は「点訳の会」がボランティアで行っています。

緊急事態宣言の自粛期間には「あいの会」では吹き込む内容を縮小し、自宅で録音できる人が吹き込み、録音室での作業は一人で行うなど感染予防に徹して対応されたとのことでした。

また、「点訳の会」では打合せは電話で、家での個人作業で点訳、最終的なプリンター操作は単数で行う等の感染予防対策をして作業を行っているとのことでした。

学習支援ボランティア「ひまわり学習会」は7月より活動再開!

櫛のホールが使用可能になった7月より、勉強したいと願う子どもの学習支援は何より重要と学習環境に恵まれない子ども達の学習支援を再開しています。活動日である毎週土曜日には5~6名の指導者でおおよそ15名ほどの小中学生の勉強を見ています。全員マスクを着用し、生徒同士の席も間隔を充分に取り行っているとのことでした。

【ひまわり学習会】

教室：生涯学習センター(櫛のホール内)

日時：第1から第4土曜日(月4回)

16時40分から20時30分まで 50分4コマ

指導：(小学)国・算、(中学)国・数・英、(受験)5科目

費用：無料(教材費/相談)

問合せ：学習支援ボランティア ☎7129-2438 (佐々木)



「ひまわり学習会」

ボランティア講師を募集

学習支援に熱意と自信のある方

*土曜日(月4回)

*櫛のホール(希望コマ数や

時間帯は応相談)

助成金を活用してみませんか？

忙しくてなかなか助成金の申請の手続きが出来なかったボランティア団体の皆さん、コロナで思うように活動できない、時間のある今こそじっくり助成金の申請にチャレンジしてみませんか？

ボランティアセンターではボランティア通信やボランティアセンター窓口・市役所入口の掲示板にて助成金情報を発信しています。また申請時に社会福祉協議会の推薦が必要な助成金についてはボランティア通信のタイミングに合わない場合にはボランティア団体の代表者様へ直接郵送にて案内を送付しております。

申請をお考えの団体で申請申込書のダウンロードが上手くできない団体の方はボランティアセンターにご相談下さい。また、助成金申請書類の書き方についての相談もどうぞ。一緒に考えましょう。

ヤマト福祉財団 助成金募集 ～障がい者福祉助成金～

申請期限 令和2年11月30日(月) 当日消印有効

申請書類などは下記ホームページからダウンロードしてください。

<https://www.yamato-fukushi.jp/>

お問合せは申請受付窓口へ

公益財団法人ヤマト福祉財団 助成金事務局宛て

〒104-0061

東京都中央区銀座2-12-18 ヤマト銀座ビル7階

TEL: 03-3248-0691

FAX: 03-3542-5165

今年からボランティア
団体も対象に！

＊障がいのある方の幸せにつながる事業・活動を助成

＊福祉事業所に限らずボランティア団体、サークル等幅広い活動を支援

助成金決定！おめでとうございます。

みずほ教育福祉財団 第37回「老後を豊かにするボランティア活動」に対する助成

むぎの会

今回頂いた助成金で早速、銭太鼓に必要な用具を揃えることが出来ました。現在は用具を使って月2回の全員訓練の他、各人がそれぞれに自宅で練習しております。

コロナ感染防止の観点から各福祉施設が慰問中止となっており施設での演技披露が出来ないのが残念ですが、助成を無駄にせぬよう努力して参ります。

特に銭太鼓は慰問先でも好評を得ている演目の一つであり、統一した衣装による演技により、さらなる福祉活動に貢献できるものと考えております。



お揃いの銭太鼓の衣装で活動できる日を期待！

公の会・ザ・サンキスト

3度目の正直での助成決定で大変嬉しいです。今回頂いた助成金では音響機器とマイクを購入予定です。

コロナウィルスの感染拡大で、今年はイベントが皆中止、福祉施設での活動再開まではまだ時間がかかるでしょうから、来年に向けて助成金で購入させていただいた機器を使い練習に励んでいきます。

私どもは、7月から川間公民館の使用制限が解除されたのを機に練習を再開しております。



普段は地域友好の活動に尽力！

生命保険協会 2019年「元気シニア応援団体に対する助成活動」

野田市中途失聴者・難聴者の集い「みみづくの会」

野田市中途失聴者・難聴者の集い「みみづくの会」は、今回の助成に応募し、幸いにも助成団体として認められました。この助成金を活用して「難聴者用スピーカー」を購入し、高齢難聴者の意思疎通を支援する「聞こえのサポート」活動を展開することにしました。この「難聴者用スピーカー」は補聴器を使っていない人でも聞きとり易くなります。試聴ご希望の向きはご連絡を！

E-mail: seijiyoshioka@jcom.home.ne.jp FAX: 7127-8575 TEL: 7129-7303



助成決定通知書の受領式でのみみづくの会の皆さん

◆◆ボランティア募集◆◆

定期ボラ

のだ福祉支援センターエンジョイライフ

(東宝珠花)

放課後等デイサービスにて折り紙を
教えてくださる方を募集!



エンジョイライフでは小学生から高校生までの障がい児童や療育手帳をお持ちの支援が必要な方をお預かりしています。

時間：16時30分から17時まで

【申込み・問合せ】

野田市ボランティアセンターまで
☎7124-3939

さわやかちば県民プラザ



「さわやかおんがく隊ワークショップ」の ボランティアスタッフ募集

「さわやかおんがく隊」は障がいのある人やそれを支える人たちが集い、音楽を通じて心のつながりや生きがいを持ち、豊かな生活を育むことを目的としています。

募集対象：高校生以上の県内にお住いの方どなたでも
(初めての方も大歓迎!)

活動内容：さわやかおんがく隊楽器演奏のサポート、指導補助、会場準備、活動内容等の打合せなど
*ご自身の都合に合わせて、参加して下さい。

問合せ：随時受付

申込み：さわやかちば県民プラザ(事業振興課)

電話：04-7140-8615

*受付時間 9時から17時まで

Web：さわやかちば県民プラザのHPより

<https://www.skplaza.pref.chiba.lg.jp/>

Fax：04-7140-8601

活動日時：9月20日、10月4日、10月18日、
11月1日、11月15日、12月6日、
12月13日、1月10日、1月17日、
2月7日、2月21日、3月7日

活動場所：さわやかちば県民プラザ多目的研修室

*予定日時や場所、内容は、新型コロナウィル施設の
開館状況等により変更の可能性があります。安心安全
を第一に、新型コロナウィルス感染拡大予防に努めな
がら活動していきます。

ボランティア情報

募集中!!

ボランティア情報(ボランティアの要請)の掲載希望はボランティアセンターまでお問合せください! ボランティア団体の練習も少しずつ始まり、With コロナで活動再開に向けて動き出しています。

今後コロナウィルスの感染が落ち着いてきて、ボランティア受け入れ再開! という施設の方はぜひご相談下さい。こちらの紙面で募集情報を掲載いたします。



ちょっといいお話♡

清水ボランティア あしたば

「コロナ禍における雑話集」を発行

雑話集には下記のような一文が添えられていました。

「会員の方から寄せられたコロナ禍時の思いを雑話集にまとめてみました。お目を通し頂いて、コロナ感染拡大で、凝り固まっている頭と心、体が少しでもほぐれて気持ちよくなれば幸いです。」

*コロナ感染の状況を見ながら、また紙上での交流を実施したいと考えております。



清水ボランティア あしたば

皆さんの思いの
つまった雑話集

今年はオンラインで開催!

東葛管内ボランティアコーディネーター交流会

年に1度、東葛管内9市のボランティアセンター担当者及びコーディネーターが持ち回りで、交流会を開催しています。今年はコロナウィルスの感染拡大防止対策で、オンライン(zoom)での開催となりました。

オンラインでの交流会は初めての試みでしたので上手く出来るか始まるまでドキドキでしたが、何とか無事に終わることが出来ました。情報共有という形でしたが、コロナ禍に対する各ボランティアセンターの取り組みを知ることができ、とても勉強になりました。

各ボランティアセンターなりの考え方や取り組み方を聞いたことが刺激となり、八方塞がりと思っていたことにも取り組んでいこうという前向きな気持ちになることが出来ました。活動のヒントもたくさんいただきました。またオンラインでも人とつながっているという「ふれあい」「安心」を実感することが出来ました。

